早稲田日本語教育実践研究　第〇号 【論文】

**本文作成時の注意**

**・｢章見出し｣**の前後には、空行（1行）が入るよう設定されています。

**・｢章見出し｣**の後に｢**節見出し｣**を付ける場合は、「2.」の書き方をご参照ください。｢**節見出し｣**と**「本文」**の間には空行（1行）は不要です。

・テンプレートの設定は変更しないでください。

タイトル（MSゴシック17pt／英数字Arial17pt半角）

―サブタイトル―（MSゴシック15pt／英数字Arial15pt半角）

早稲田 花子・高田 太郎（MS明朝13pt／英数字Arial13pt半角）

要旨（MSゴシック10pt / 400字以内）

要旨本文（MS明朝9.5pt／英数字Times New Roman・9.5pt半角）左端の行番号は校正作業に必要なため，削除しないで提出すること。左端の行番号は校正作業に必要なため，削除しないで提出すること。左端の行番号は校正作業に必要なため，削除しないで提出すること。左端の行番号は校正作業に必要なため，削除しないで提出すること。左端の行番号は校正作業に必要なため，削除しないで提出すること。左端の行番号は校正作業に必要なため，削除しないで提出すること。

キーワード（MSゴシック9.5pt）：見本，早稲田，日本語，読解，会話（MS明朝9.5pt／英数字Times New Roman・9.5pt半角）

1．（全角スペース1字）章見出し（英数字Arial・10pt半角／見出しMSゴシック10pt）

本文（MS明朝10pt／英数字Times New Roman・10pt半角）左端の行番号は校正作業に必要なため，削除しないで提出すること。

本文に注をつける場合は，注をつけたい語句が含まれる本文中の切れ目に通し番号の数字を上付きでつけ，その右を片括弧でとじる。注の本文は，論文の本文の次にまとめて注記する1)。

本文中および図表中の数字とアルファベットは，半角を原則とする。

フォント指定の青字の部分は，削除して提出すること。

2．（全角スペース1字）章見出し（英数字Arial・10pt半角／見出しMSゴシック10pt）

2-1．（全角スペース1字）節見出し（英数字Arial・10pt半角／見出しMSゴシック10pt）

本文（MS明朝10pt／英数字Times New Roman・10pt半角）これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です

表1　表題名（MSゴシック9pt／数字Arial・9pt半角）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 表中の文字（MS明朝8pt／英数字Times New Roman・8pt半角） |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

本文（MS明朝10pt／英数字Times New Roman・10pt半角）これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。

図中文字（MS明朝8pt／英数字Times New Roman・8pt半角）

これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。

　　　図1　図題名（MSゴシック9pt／数字Arial・9pt半角）

注（MSゴシック・9.5pt）

1） 注本文（MS明朝9.5pt／英数字Times New Roman・9.5pt半角）これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これ

2） 注本文（MS明朝9.5pt／英数字Times New Roman・9.5pt半角）これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。これは見本です。

参考文献（MSゴシック・9.5pt）

清水まさ子・トンプソン美恵子・張瑜珊（2013）「留学時の論文執筆経験が帰国後の論文執筆指導に与える影響―インタビューの質的研究から―」『留学生教育』18, 91-99.

Yoon, J. (2008) Video-conferencing and Learning Japanese as a Second Language : A Pilot Study of Interactive Competence in Contact Situations. *Waseda Global Forum*,4,121-129.

（MS明朝9.5pt／英数字Times New Roman・9.5pt半角）

資料1（MSゴシック・9.5pt／数字Arial・9.5pt半角）

資料本文（MS明朝9.5pt／英数字Times New Roman・9.5pt半角）これは見本です。

（わせだ　はなこ，早稲田大学日本語教育研究センター）

（MS明朝・9.5pt／英数字Times New Roman・9.5pt半角）